

はじめに

この度、本市の進むべき指針となる「第3次安芸高田市総合計画」を策定しました。総合計画は、市が取り組む「まちづくり」の最上位に位置付けられた長期計画で、次世代を見据え行政だけでなく、市民の皆様とともに目指すところへ進んでいく、言わば、まちづくりの羅針盤となるものです。

私たちは今、大きな転換点に立っています。人口減少や少子高齢化、地域コミュニティの弱体化、そして社会構造の急速な変化を前に、これまでの延長線上のまちづくりでは、次世代に責任を持つことはできません。そこで本計画では、従来の枠組みを見直し、これまで10年間としていた基本構想の期間を、さらに先を見据えた20年間とし、次世代を担う子どもや孫たちが、このまちでどのような暮らしを営むべきかを未来から逆算して整理しました。

本計画の基本理念として、「百万一心、未来へつなぐ安芸高田市」を掲げています。毛利元就が唱えたとされる“百万一心”～皆で力を合わせれば、何事も成し得る～この精神を現代に体现するため、策定プロセスにおいて「対話」を重視し、市民アンケートに留まらず、学生や子育て世代とのワークショップ、市民との対話集会などを行い、様々なご意見をいただきました。

そこで語られたのは、暮らしの安心や持続可能な地域づくり、そして何より「このまちをよくしたい」という切実な想いです。本計画には、こうした市民の皆様の生の声が息づいています。

計画はつくることが目的ではありません。実行し、結果を出し、未来をつくるためにあります。安芸高田市に関わる“みんな”で本計画を推進し、20年後の安芸高田市を、今よりもさらに輝くまちとして次世代へつないでいきましょう。

最後に、本計画の策定にあたり、各種アンケートやワークショップ、パブリックコメントなどでご意見をお寄せくださいました市民の皆様をはじめ、熱心にご議論いただきました総合計画審議会委員や、関わってくださった皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2026(令和8)年3月

安芸高田市長
藤本 悦志

